

## 新春ミニ企画「縁起ものの美術」開催のご案内

今回のミニ企画では、お正月にちなんで「縁起もの」(縁起が良い、つまり良いことが起こる<sup>きざ</sup>兆しとされた事柄)を描いた美術作品を特集展示します。

「鶴は千年、亀は万年」という言葉で知られるように、「鶴」と「亀」はいずれも中国由来の長寿のシンボル。「一富士、二鷹、三茄子<sup>なすび</sup>」は江戸時代のことわざで、初夢に見ると縁起が良いとされました。「七福神」はインド・中国・日本由来の福の神からなる組み合わせ。江戸時代頃には、絵画作品などを通して一般的に親しまれるようになりました。

年末年始にはぜひ古代出雲歴史博物館へもお立ち寄りいただき、さまざまな縁起ものの作品をお楽しみください。

### 記

1. 展示期間 令和5年12月20日(水)～令和6年2月5日(月)  
※会期中の休館日: 1月9日(火)、16日(火)
2. 開館時間 9:00～17:00 (最終入館 16:30)
3. 会場 古代出雲歴史博物館 常設展示室
4. 料金 常設展の入場料金でご覧いただけます。(追加料金はかかりません。)  
(一般 620 円、大学生 410 円、小中高生 200 円)
5. 展示作品
  - ① 鶴図屏風<sup>つるずびょうぶ</sup> 江戸時代 17～18 世紀 個人蔵 (当館寄託)
  - ② 亀置物 (長浜人形) 江戸時代 19 世紀 当館蔵 (周藤国実コレクション)<sup>すとうくにみ</sup>
  - ③ 富士見瀉之図 (亀井矩賢<sup>かめい のりかた</sup> 筆) 江戸時代 18～19 世紀 当館蔵
  - ④ 鷹図 (狩野永雲<sup>かのう えいうん</sup> 筆) 江戸時代 17 世紀 当館蔵
  - ⑤ 茄子図茶碗 (意東焼) 江戸時代 19 世紀 当館蔵 (周藤国実コレクション)<sup>なす ず ちゃわん</sup>
  - ⑥ 七福神図皿 (布志名焼) 江戸時代 19 世紀 当館蔵 (周藤国実コレクション)<sup>しちふくじん ずさら</sup>
  - ⑦ 引札<sup>ひきふだ</sup> 明治時代 19～20 世紀 当館蔵



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦